

第30回 久慈地区高等学校 総合文化祭

～吹かせよう こはくの国から夢色の風を～



第30回久慈地区高等学校総合文化祭が、1月18日、19日の2日間アンバールで開催され、久慈高等学校、久慈高等学校長内校、久慈東高等学校、久慈工業高等学校、種市高等学校、大野高等学校、久慈拓陽支援学校高等部の7校が、日頃の成果を発表しました。表彰式では、テーマ部門の最優秀賞を久慈工業高等学校1年の二又幸音さん、優秀賞を久慈東高等学校3年の向川戸莉子さん。ポスター原画功労賞は、久慈東高等学校2年の鹿糠優菜さん、蒲野和さん、坂本奈々さんが受賞しました。今回の総合文化祭では、書道や華道などの展示は一般公開を実施。個性的な作品が飾られ、来場者の目を楽しませました。茶道部は、久慈高等学校と久慈東高等学校の部員のみで茶会を行い、お点前を披露。交流を深めました。ステージ発表は高校生や保護者を対象に公開。堂々とした発表に、会場から大きな拍手が送られました。

ステージ発表を終えて

■久慈高等学校 マンドリン部

村田 海音 部長

程よい緊張感で、練習の成果を発揮でき、楽しんで演奏できました。

マンドリン部は部員が少ないため、個々の技術が求められます。遠くは盛岡から、毎週のように指導に来てくれるコーチの皆さんに、心から感謝しています。全国大会連続出場という伝統を絶やさぬよう、これからもいい音を目指していきます。

■久慈高等学校 音楽部

菊池 萌生 部長

観客の前で合唱したことは、とてもうれしく貴重な経験になりました。事前練習でミスもあり、緊張しましたが部員全員笑顔でやりきることができ、達成感があります。

今後はコンテストに向け練習を重ねていきます。各パートの表現を豊かにし、聞いている人に合唱の楽しさが伝わるような歌を届けたいです。

■久慈高等学校 吹奏楽部

津田 花音 部長

時間を有効活用して練習を重ねてきました。今回は事前に収録し発表しました。早くみんなでそろって吹けるようになればうれしいです。

私たちは、岩手県吹奏楽コンクールの金賞を目標に活動しています。モットーである愛される吹奏楽部でいられるよう、全員で楽しくこれからも活動していきたいと思ひます。

■久慈東高等学校 吹奏楽部

千原 柚芭 部長

練習は、体力づくりの筋トレや基礎を重点的に行ってきました。

今回は学校の活動を事前に収録して発表。久慈地区の少人数ながらの魅力ある吹奏楽を届けたいことができず残念でしたが、久慈地区の吹奏楽部全体で発表できるように企画・編集・協力してくれた先生や関係者の皆さんに、心から感謝しています。

■久慈東高等学校 チアダンス部

赤坂 菊乃 部長

制限があるなか、時間を有効に使い振りをそろえることを重点的に練習してきました。直前まで修正点はありましたが、全員で確認を怠らずやり切ることができ安心しています。

今回は限定公開でしたが、来場できなかった地域の人たちにも、私たちのダンスで笑顔になってもらえるよう頑張っていきたいと思ひます。

■久慈高等学校 演劇部

野場 安珠 部長

脚本は部員で話し合いを重ね、オリジナルの作品を仕上げました。地区大会でも披露したのですが、エンディングは高文祭に向けて変更。

ステージ発表はとても緊張しましたが、始まりの勢いに任せて自由に演技がすることができました。見ている人の反応が目の前で感じることができ、本当に楽しかったです。



茶道部



展示



展示



ポスター原画功労賞